

歴史的景観の保全に関する検証事業
京都市歴史的景観の保全に関する検討会
第 6 回

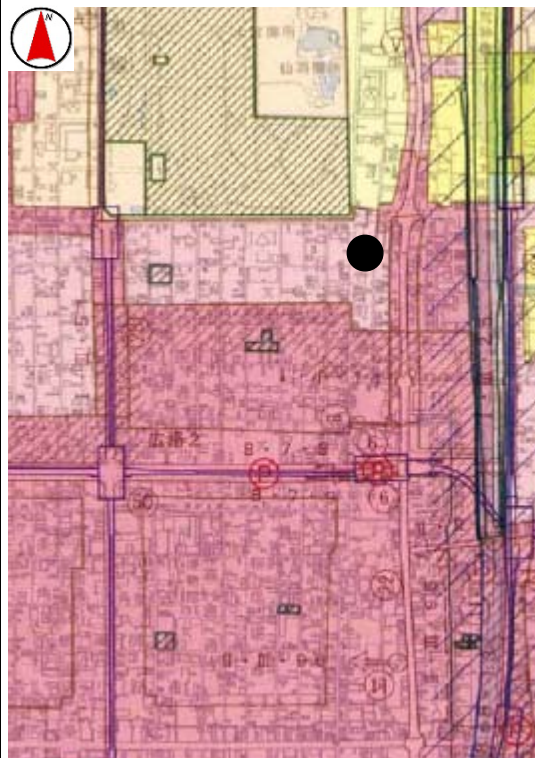
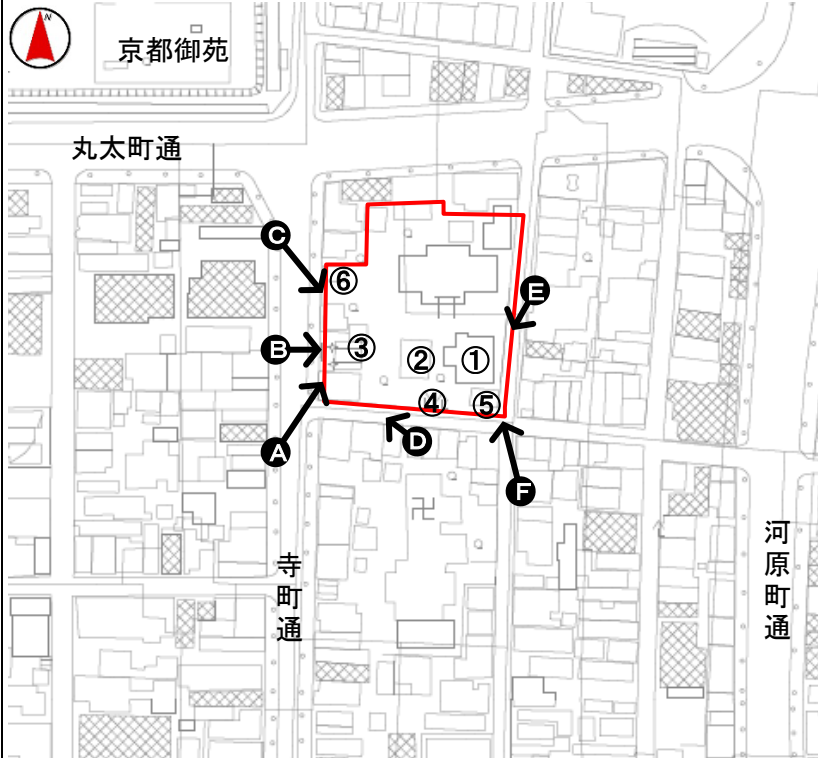
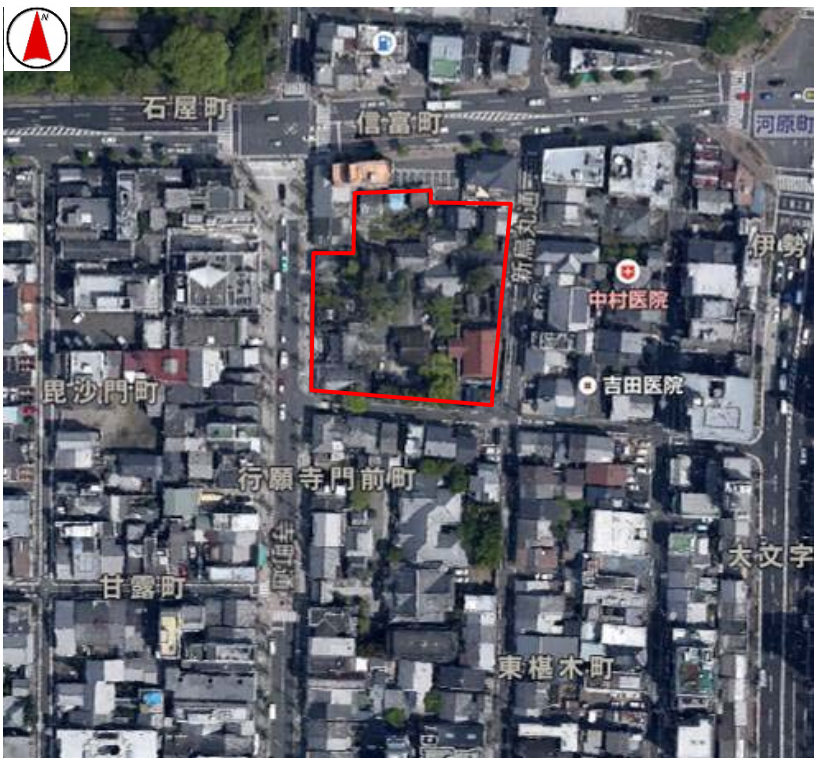
参考資料 2 景観重要建造物等の指定候補の事例

【神社】	【寺院】	【近代建築】
御霊神社 …… 1	神泉苑 …… 6	京都中央信用金庫 …… 11
下御霊神社 …… 2	瑞雲院 …… 7	任天堂正面営業所 …… 12
若宮八幡宮 …… 3	弘誓寺 …… 8	手越医院 …… 13
武信稻荷神社 …… 4	正定院 …… 9	小泉邸 …… 14
総神社天満宮 …… 5	善徳寺 …… 10	

景観重要建造物等の調査票						
寺社 No. 047（ID. 上 J004）		名称：御霊神社（ごりょうじんじゃ）		担当者：杉本		
				調査日：平成 26 年 12 月 2 日		
所 在 地	上京区上御霊前烏丸東入上御霊豎 494		位置図（都市計画図）	航空写真		
敷 地 面 積	11227.3 ㎡		平面図（写真撮影位置図）			
現適用制度	用途地域	第二種中高層住居専用地域				
	防火・準防火	準防火地域				
	高度地区	15m 第 1 種高度地区				
	景観計画	旧市街地型美観地区				
風致地区	—					
系譜，歴史性（謂れ等）	祭神として崇道天皇，吉備真備，橘逸勢をはじめ，13 柱の神霊を祀る。 この地には，はじめ付近住民の氏寺として創建された上出雲寺があったが，平安京遷都に際し，桓武天皇の勅願により王城守護の神として，奈良時代・平安時代初期に不運のうちに無くなった 8 柱の神霊が祀られたといわれ，その後，明治天皇の御願により祭神 5 社が増祀され，現在に至っている。 平安時代には，天変地異や疫病流行は怨霊のたたりであるとする御霊信仰が盛んで，疫病除けの霊社として名を広めた。朝廷から庶民に至るまで広く信仰を集めたが，特に御所の守護神として皇室の崇敬が厚く，神輿や牛車等，皇室からの寄付品を多数蔵している。 本殿は，享保 18 年に下賜された賢所御殿を復元したものと言われる。境内は，応仁の乱の発端となった場所としても知られる。 境内解説版参考					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））			
①本殿 木造 1 階		②楼門（西門）	③手水舎	A	B	C
④拝殿		⑤社務所	⑥宝蔵庫	D	E	
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等			
天皇家に縁が深いため，日常的に参拝者があるようだ。敷地内の建物や樹木の管理状態は良好である。境内敷地は広く，境内社が多い。			・周辺は，閑静な住宅地である。境内には大木が生い茂り，緑が多いため，遠方からでもその存在を確認することができる。			

景観重要建造物等の調査票

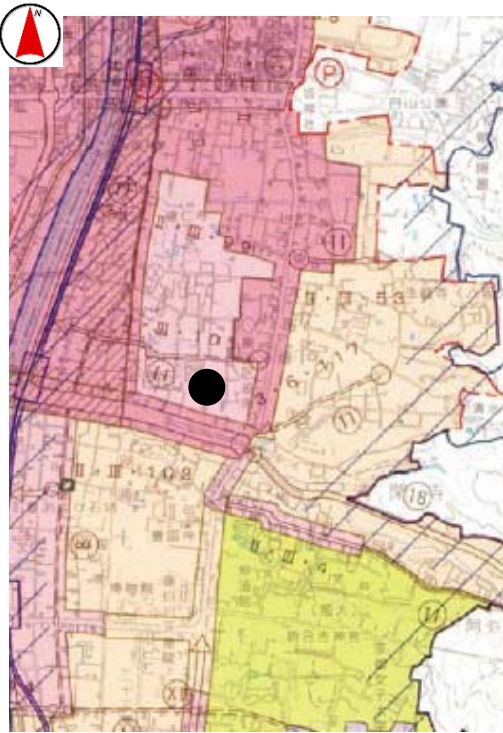
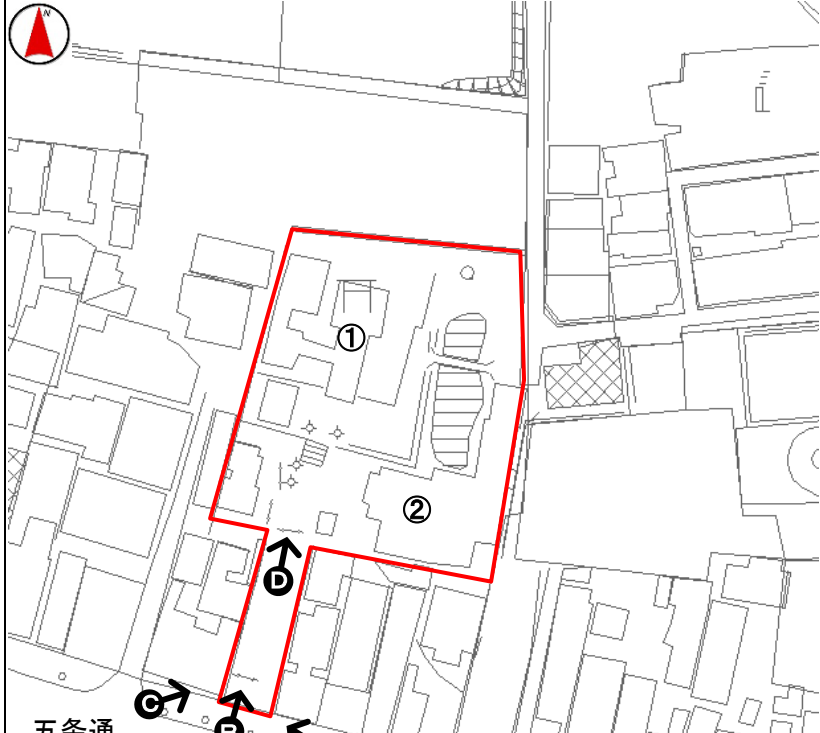
寺社 No. 222 (ID. 上 J018)	名称：下御霊神社（しもごりょうじんじゃ）	担当者：辻，長谷川	調査日：平成 26 年 7 月 31 日
-------------------------	----------------------	-----------	----------------------

所 在 地	上京区新烏丸通丸太町下新富町 324		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真
敷 地 面 積	3,074.1 ㎡（※近代化遺産は GIS 計測）				
現適用制度	用途地域	近隣商業地域			
	防火・準防火	準防火地域			
	高度地区	15m第3・4種高度地区			
	景観計画	歴史遺産型美観地区			
風致地区	—				
系譜, 歴史性 （謂れ等）	平安時代に冤罪を被り亡くなった貴人の怨霊を御霊として、その当時から祀ってきた神社。疫病災厄を退散し、朝廷と都を守る神社として崇敬される。初めは京の郊外でそれぞれの御霊が祀られていたが、後にまとめて八所御霊としてお祀りする事で御神徳が高まると考えられ、当社が鎮座されたものと思われる。本殿・幣殿・拝所・南北廊・拝殿は市指定有形文化財。寛政3年(1791)に移建された。				

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））		
------------------------	--	--	--------------------------	--	--

①本殿・幣殿，木造，1階	②拝殿，木造，1階	③手水舎・表門，木造，1階			
					
④末社，木造，1階	⑤神輿庫，木造，1階	⑥倉庫・店舗，木造，1階			

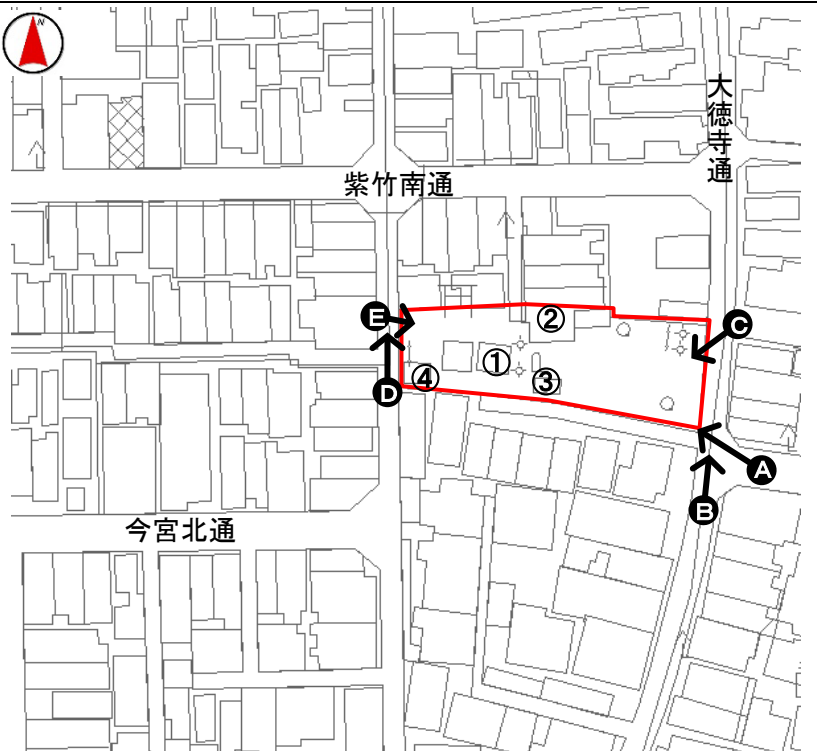
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・神輿庫（天明の大火の際に類焼を免れて現存する）や末社の損傷が目立つ（④，⑤）。土塀の内側からの応急処置も見られる（⑤）。 ・倉庫（敷地北西）の一角は店舗に改装されて利用される（⑥）。	・寺町通に面してはある程度良好に保たれているが，河原町通への通りや敷地東側の通りでは，土塀の損傷等が見られる。 ・土塀や本殿の修復に向け，本殿前に「社殿等修復事業御奉賛のお願い（1口千円）」の看板が設置されている。 ・5月の還幸祭，8月の例祭などが盛大に行われる。

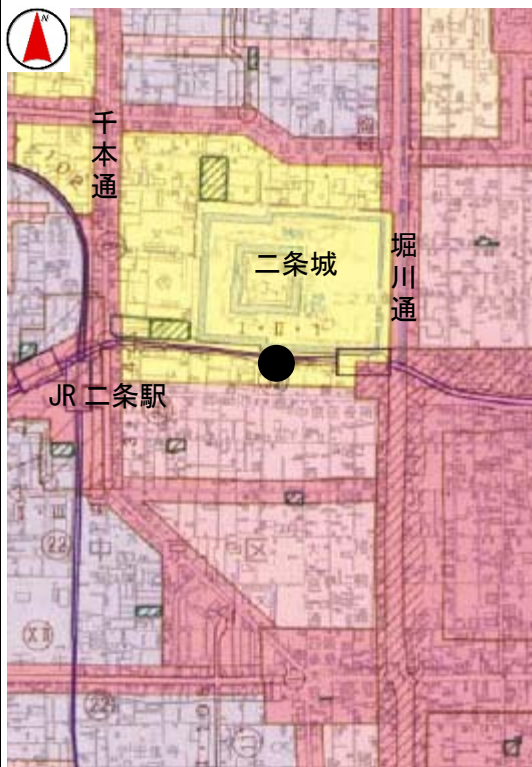
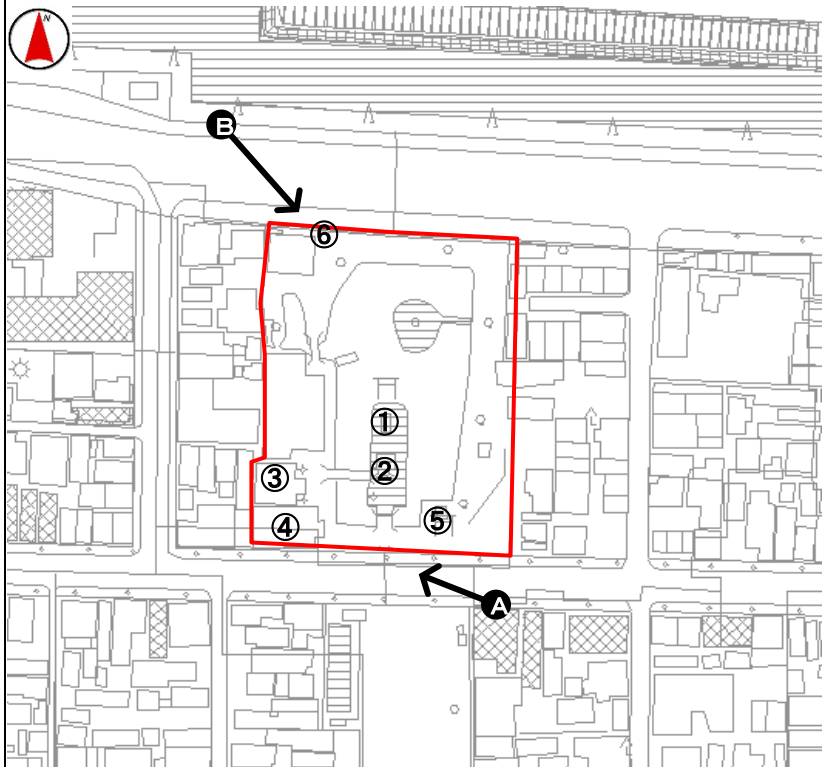
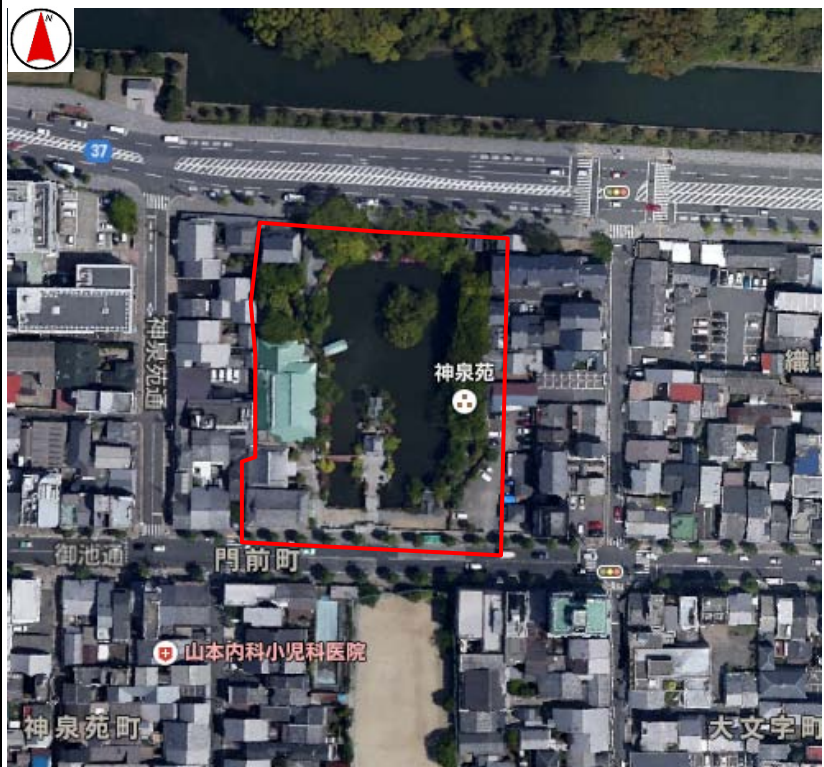
景観重要建造物等の調査票						
寺社 No. 256（ID. 東 J017）			名称：若宮八幡宮（わかみやはちまんぐう）		担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日
所 在 地	東山区五条橋東 5 丁目 480		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真	
敷 地 面 積	2712.1　m ²					
現適用制度	用途地域	近隣商業地域・商業地域				
	防火・準防火	防火地域・準防火地域				
	高度地区	15m 第 3 種高度地区 20m 第 4 種高度地区				
	景観計画	旧市街地型美観地区 沿道型美観形成地区(幹線地区)				
風致地区	—					
系譜, 歴史的性 （謂れ等）	当初は六条醒ヶ井にあり，源頼義（八幡太郎義家の父）が八幡の若宮として祀ったものと伝えられている。 室町時代には足利歴代将軍の崇敬を集め隆盛を極めた。しかし，応仁の乱により社殿は荒廃し，以後社地も転々とし，慶長 10 年（1605）この地に移った。 現在の社殿は承応 3 年（1654）に再建されたもの。					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）				建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））		
①本殿，木造，1 階	②社務所，木造，1 階	③				
						
④	⑤	⑥				
建物個々で気の付いた点						
			・五条通から奥まった所に境内があり，樹木に囲まれている。 ・その樹木は，五条通からも視認できる。 ・周辺は木造家屋が多い。			

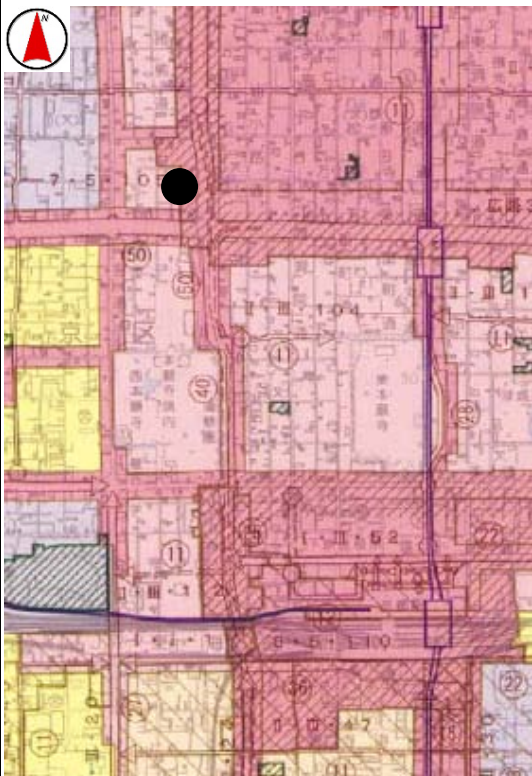
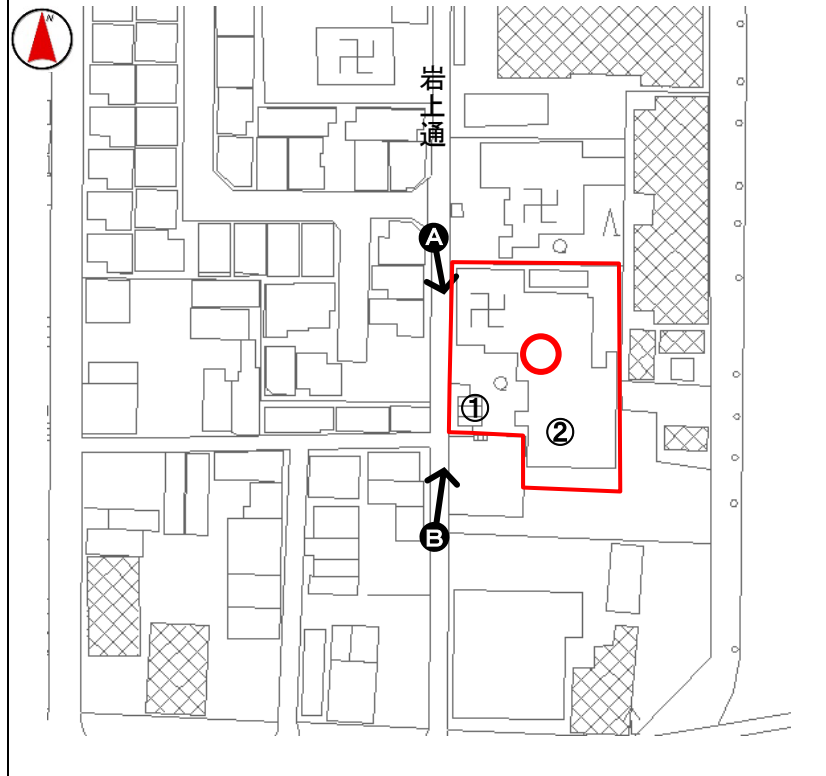
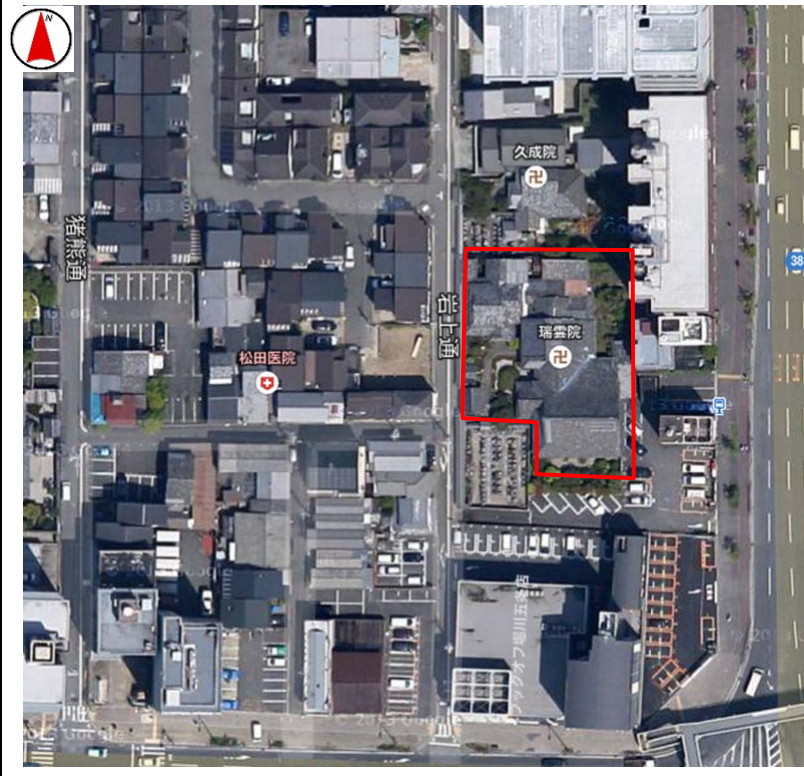
景観重要建造物等の調査票

寺社 No. 427（ID. 中 J007）	名称：武信稲荷神社（たけのぶいなりじんじゃ）	担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 12 日
------------------------	------------------------	-------	----------------------

所 在 地	中京区三条大宮西入二筋目下		位置図（都市計画図）		平面図（写真撮影位置図）		航空写真	
敷 地 面 積	1,395.3㎡							
現適用制度	用途地域	近隣商業地域						
	防火・準防火	準防火地域						
	高度地区	15m第3種高度地区						
	景観計画	旧市街地型美観地区						
	風致地区	—						
系譜, 歴史性 （謂れ等）	平安時代の初期, 清和天皇貞観元年（859年）2月, 西三条大臣といわれた右大臣左近衛大将藤原良相（ふじわらのよしすけ）公によって創祀された御社。創祀された藤原良相公が長として一族の名付けをされていたことから, 名付け・命名に所縁の神社として知られる。 敷地内のエノキ1本は, 市指定の天然記念物。							
主な建物個々の写真（番号, 用途, 構造, 階数）			建物全景写真（近景, 遠景（周辺の町並みを含む））					
①本殿, 木造, 1階	②拝殿, 木造, 1階	③手水社, 木造, 1階						
④参集所	⑤	⑥						
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況, その他特筆すべき事項等					
・ 参集所が新築。			・ 参集所の建替え, 御神木周辺の参道の補修等は完了したが, 社務所屋根, 参道, 絵馬堂等の補修事業は継続予定。 ・ 敷地南側には7階建のマンションが立地。見下ろされる感あり。					

景観重要建造物等の調査票					
寺社 No. 508 (ID. 北 J037)		名称: 総神社天満宮 (そうじんじゃてんまんぐう)		担当者: 杉本	
調査日: 平成 26 年 10 月 24 日					
所在地	北区紫竹西南町 46		位置図 (都市計画図)	平面図 (写真撮影位置図)	
敷地面積	932.2 m ²				
現適用制度	用途地域	第一種住居地域			
	防火・準防火	準防火地域			
	高度地区	15m 第 2 種高度地区			
	景観計画	山並み背景型建造物修景地区			
風致地区	—				
系譜, 歴史性 (謂れ等)	山城国一之宮賀茂別雷神社 38 社の一つである。創祀年代は詳らかではないが、社僧の始まりは天武天皇白鳳年間と伝えられている。 http://kakitutei.goزارu.jp/kyoto05ma/14-9.html 参照				
主な建物個々の写真 (番号, 用途, 構造, 階数)			建物全景写真 (近景, 遠景 (周辺の町並みを含む))		
①本殿 木造 1 階	②社務所 木造 1 階	③手水舎 木造 1 階			
					
④倉庫 木造 1 階		⑥			
					
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況, その他特筆すべき事項等		
住宅地内に位置し, 建物はいずれも古いが, 周辺の氏子の方々に大切に維持管理されているのがうかがえる。			・古くからの住宅地と思われる地区内にある。境内敷地は小さいが, 提灯や社殿, 鳥居などの管理状態から氏子の信仰の厚さが伺え, 周辺の町並みとも調和している。		

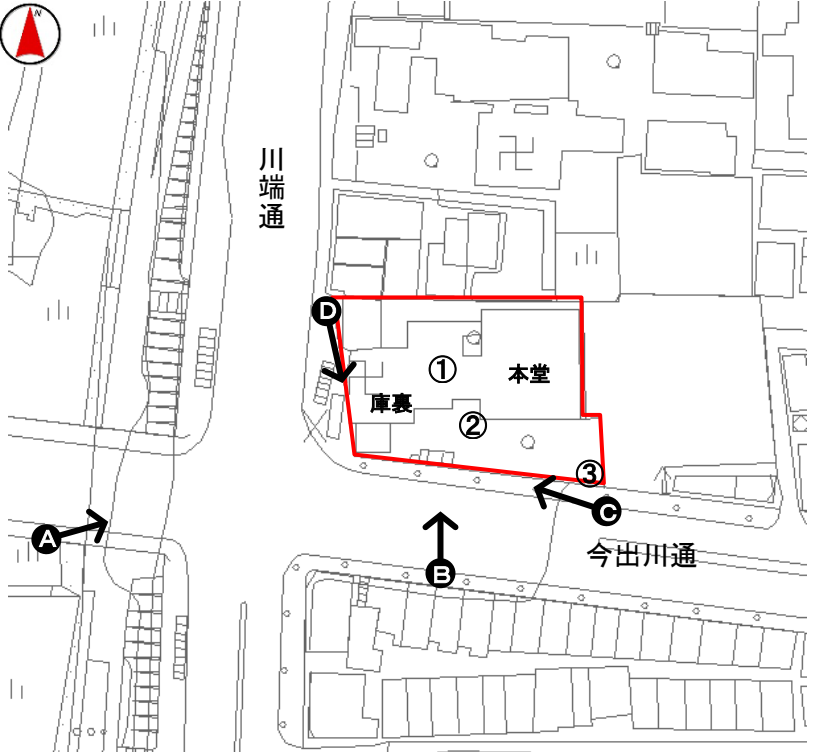
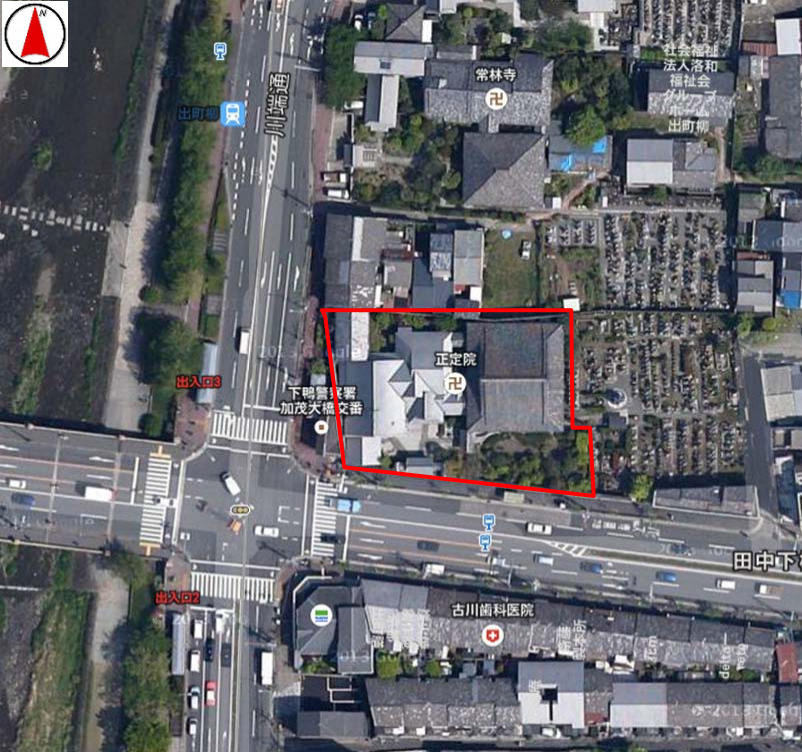
景観重要建造物等の調査票						
寺社 No. 092（ID. 中 J002）			名称：神泉苑（しんせんえん）		担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 10 日
所 在 地	中京区御池通神泉苑東入門前町 167		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真	
敷 地 面 積	6,256.8 m ²					
現適用制度	用途地域	第一種住居地域 近隣商業地域				
	防火・準防火	準防火地域				
	高度地区	15m第2・4種高度地区				
	景観計画	歴史遺産型美観地区				
	風致地区	—				
系譜, 歴史的性 （謂れ等）	平安京（大内裏）の南東隣りに位置し、 八町の規模を有する苑池であり、禁苑と されている。東寺真言宗。 国指定史跡。					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））			
①本殿・拝所，木造，1階		②拝殿，木造，1階	③本堂，木造，1階			
						
④方丈，木造，2階		⑤弁天堂，木造，1階	⑥北門，，1階			
						
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等			
・善女龍王社本殿の修復工事を実施中。			・押小路通と御池通に挟まれる位置に立地。 ・敷地内に平安殿「神泉苑平八」を有する。 ・「善女龍王社本殿修復工事寄進のお願い」の立看板あり（1口5,000円）。			

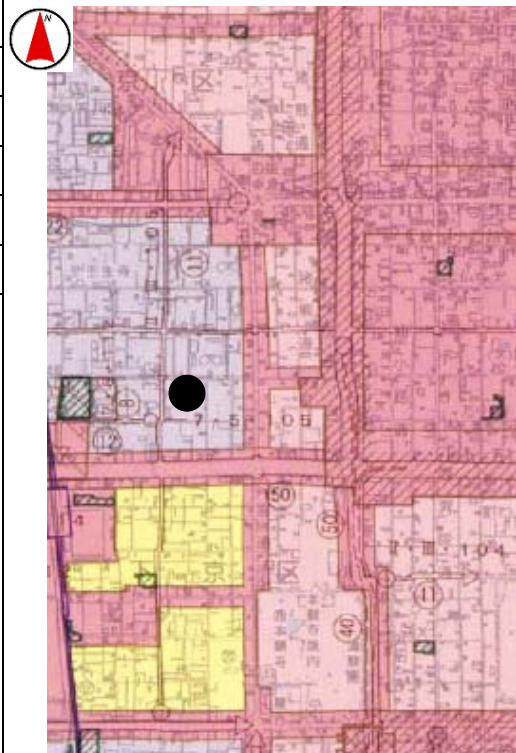
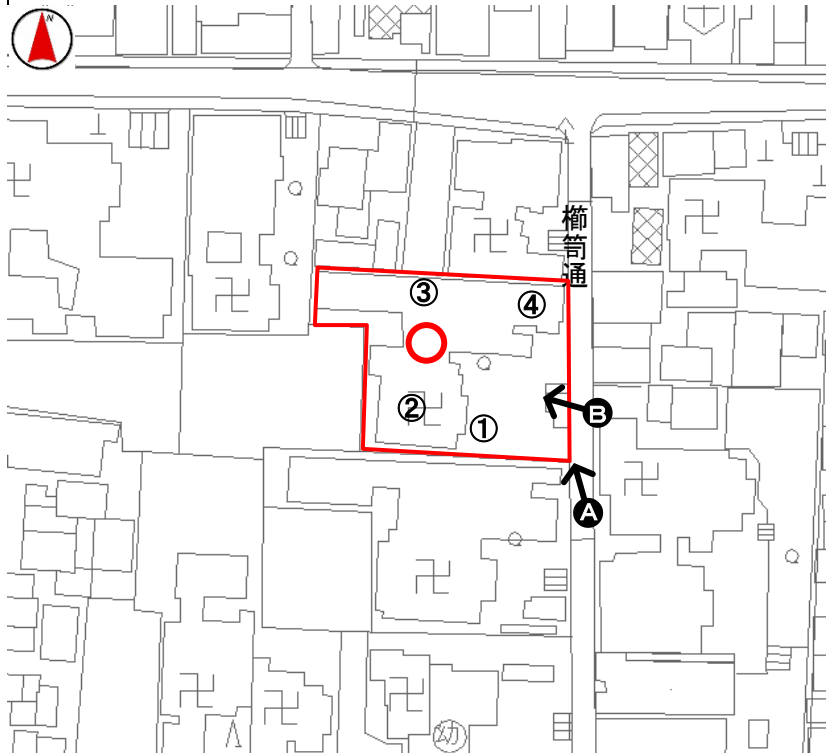
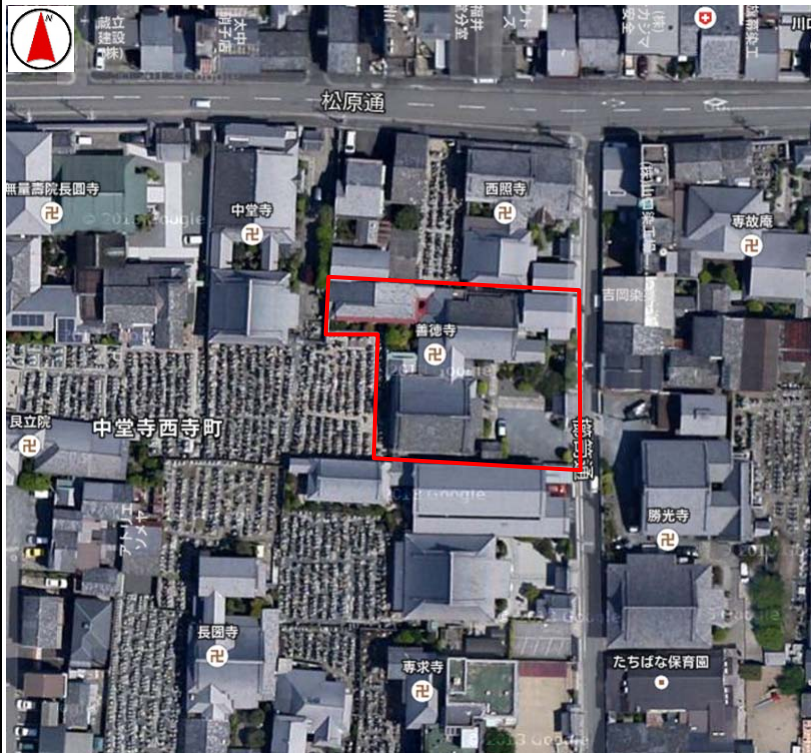
景観重要建造物等の調査票						
寺社 No. 163（ID. 下 J008 ）		名称：瑞雲院（ずいうんいん）		担当者：山田		調査日：平成 26 年 12 月 8 日
所 在 地	下京区岩上通五条上る柿本町 682		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真	
敷 地 面 積	4049.8 m ²					
現適用制度	用途地域	商業地域				
	防火・準防火	準防火地域				
	高度地区	31m 高度地区				
	景観計画	沿道型美観地区（都心部幹線地区） 市街地型美観形成地区				
	風致地区	－				
系譜, 歴史的性（謂れ等）	日蓮宗 1602 年（慶長 7）日求が小早川秀秋（1582～1602）の菩提を弔うため、玉陽院を改めて開創したと伝わる。秀秋の祭祀料として徳川家康が寺領 100 万石を与えたのに因み、百石寺とも称する。また、豊臣秀吉の姉日秀尼が、安土城内の秀頼旧邸を移し方丈とし、秀秋追善のために建立。100 石を施入したとする説もある。 http://kanko.city.kyoto.lg.jp/top.php 参照					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））			
①表門，木造，1 階	②本堂，木造，1 階	③				
④	⑤	⑥				
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等			
・土塀以外の山門，塀瓦，敷地内建物，樹木は，きれいに管理されている。			・敷地内では，空間的なゆとりも感じられ，庭木等の緑も多い。 ・岩上通沿いの土塀について，損傷等が見られる。			

景観重要建造物等の調査票

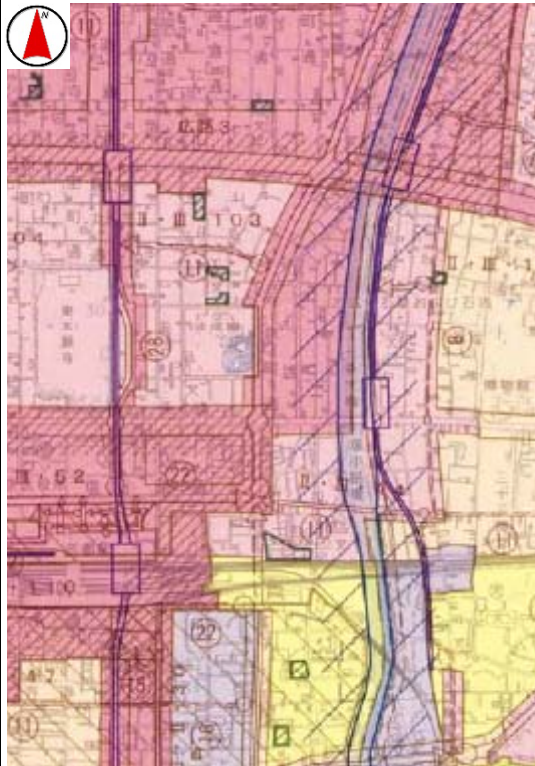
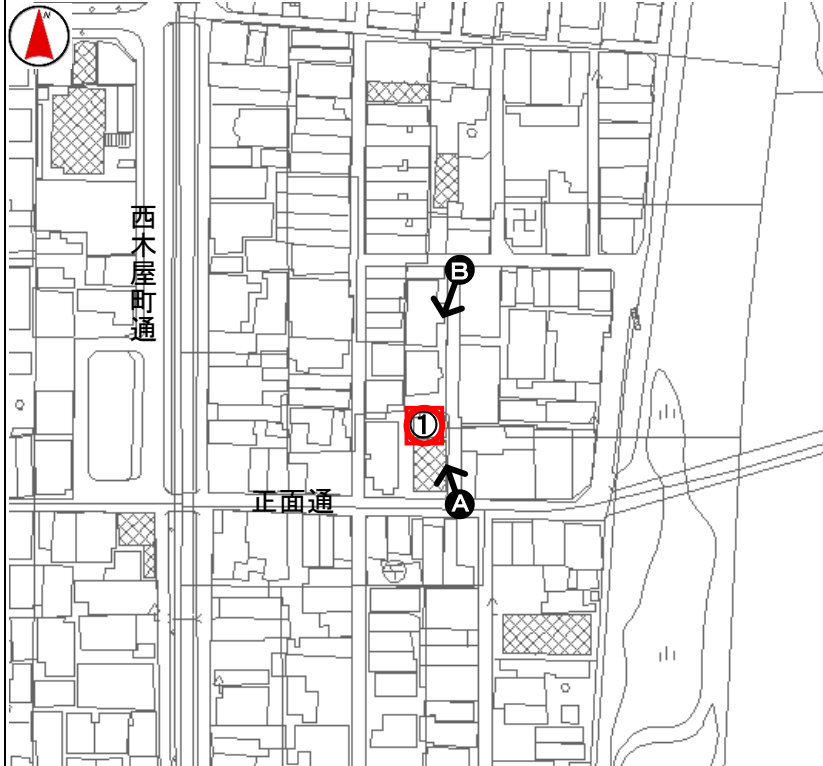
寺社 No. 176 (ID. 上 J069)	名称：弘誓寺（ぐぜいじ）	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 11 月 14 日
-------------------------	--------------	--------	-----------------------

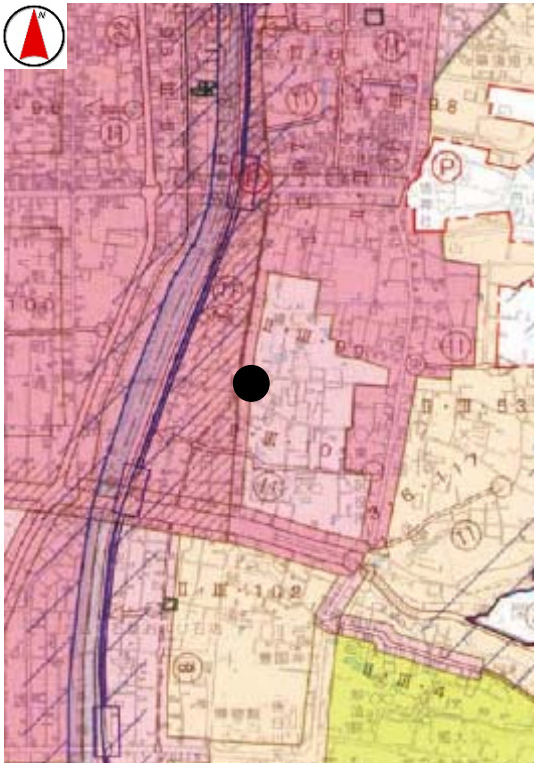
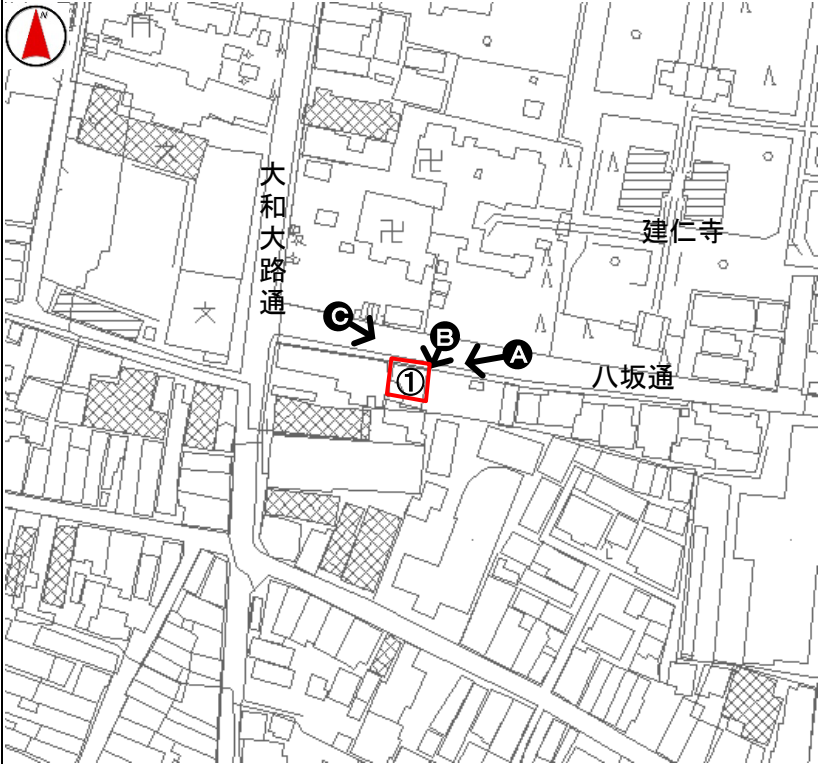
所在地	上京区長門町	位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真	
敷地面積	3740.2 m ²				
現適用制度	用途地域				第一種住居地域
	防火・準防火				準防火地域
	高度地区				15m 第 2 種高度地区
	景観計画				旧市街地型美観地区
風致地区	—				
系譜, 歴史的性（謂れ等）	浄土宗				
主な建物個々の写真（番号、用途、構造、階数）			建物全景写真（近景、遠景（周辺の町並みを含む））		
①本堂（奥）敷地外北側より	②山門	②木村家館跡石碑			
④	⑤	⑥			
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況、その他特筆すべき事項等		
敷地の全容は確認できなかった。建物や樹木の管理は良好である。北側路地①は小広場で駐輪場化している。			・通り遠方からは、寺院の存在は確認できないが、正面付近からは石垣、山門、松が確認できる。特に違和感はない。		

景観重要建造物等の調査票					
寺社 No. 266 (ID. 左 J047)		名称：正定院 (しょうじょういん)	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 12 月 9 日	
所在地	左京区田中下柳町 30		位置図 (都市計画図)	平面図 (写真撮影位置図)	航空写真
敷地面積	2639.1 m ²				
現適用制度	用途地域	近隣商業地域			
	防火・準防火	準防火地域			
	高度地区	15m 第 4 種高度地区 15m 第 2 種高度地区 12m 第 3 種高度地区			
	景観計画	沿道型美観形成地区 (幹線地区) 山並み背景型美観地区			
風致地区	風致地区第 4 種地域				
系譜, 歴史性 (謂れ等)	正定院 (しょうじょういん) は、賀茂大橋の東、今出川通に南面してある。山号は竹谷山という。萩の寺として知られている。 浄土宗、本尊は阿弥陀如来。 江戸時代、1610 年、唱誉により創建されたという。1693 年、現在地に移転した。 近代、昭和期初頭、1931 年？、今出川拡幅工事に伴い、伽藍を改修した。 江戸時代の絵師・曾我蕭白、江戸時代の箏曲家・幾山検校の墓がある。 http://everkyoto.web.fc2.com/report1362.html より				
主な建物個々の写真 (番号, 用途, 構造, 階数)			建物全景写真 (近景, 遠景 (周辺の町並みを含む))		
①山門, 本堂入口 木造 1 階	②子育て蔵尊 (本堂前)	③地藏堂	  		
					
④	⑤	⑥			
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況, その他特筆すべき事項等		
敷地内の建物, 樹木等の管理は良好である。			・賀茂大橋の橋詰に位置し, 遠方から確認することができる。叡山電鉄本線の駅が隣接していること, また近隣には京都大学や同志社大学があることから, 前面通りは, 学生の歩行者や自転車走行者が非常に多い。		

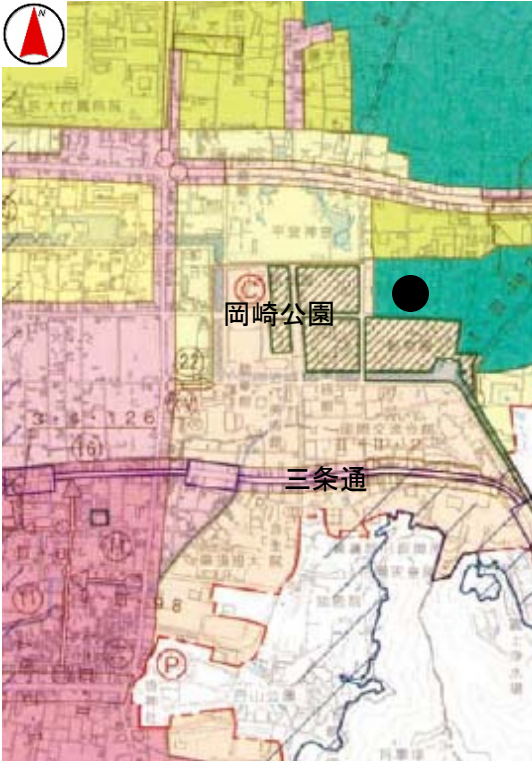
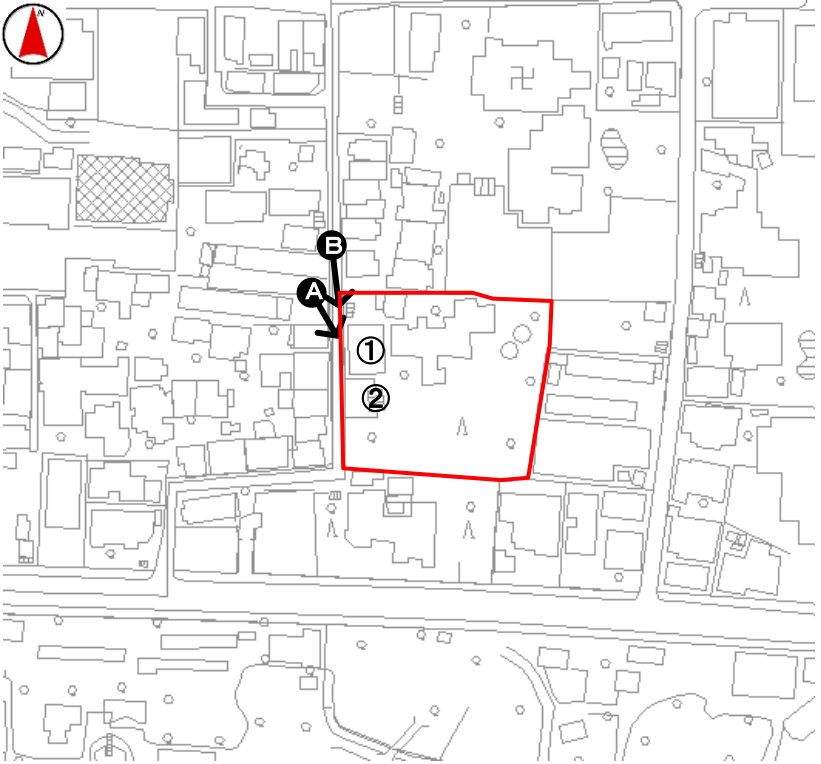
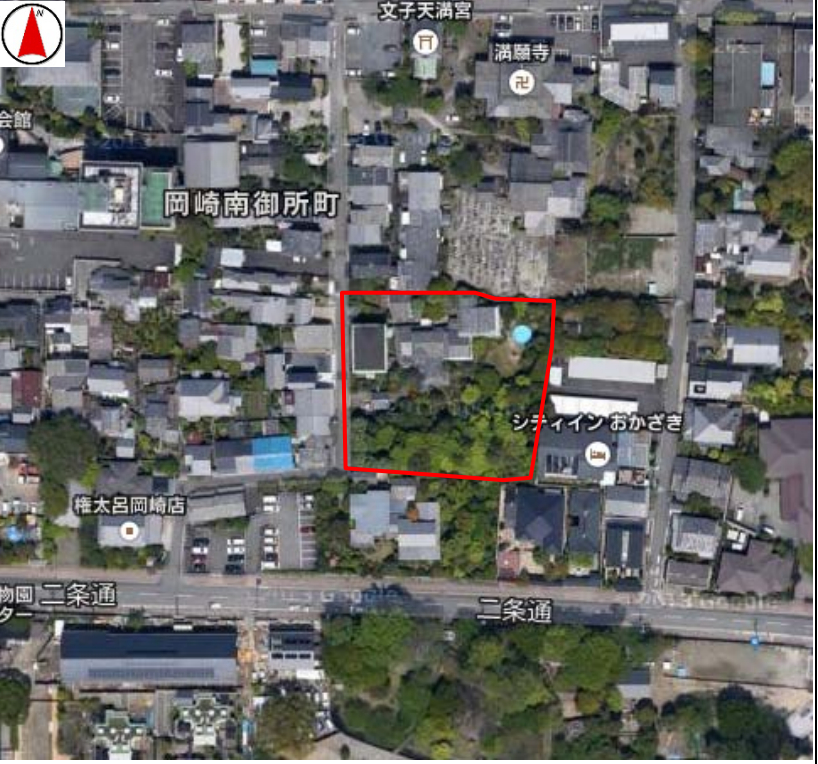
景観重要建造物等の調査票						
寺社 No. 365（ID. 下 J029 ）		名称：善徳寺（ぜんとくじ）		担当者：山田		調査日：平成 26 年 12 月 8 日
所 在 地	下京区中堂寺西寺町 13		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真	
敷 地 面 積	1839.5 m ²					
現適用制度	用途地域	準工業地域				
	防火・準防火	準防火地域				
	高度地区	20m 第 3 種高度地区				
	景観計画	市街地型美観形成地区				
	風致地区	－				
系譜, 歴史的性（謂れ等）	善徳寺は西山浄土宗に属する寺院で、本尊の阿弥陀如来像は室町時代の僧恵心僧都の作と伝えられている。善徳寺といえは赤壁ですが、これは、江戸時代に紅屋を営んで成功した檀家の木村平兵衛という人物が、寄進した山門の土壁を京紅で塗ったことに由来している。					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））			
①本堂，木造， 1 階	②手水舎，木造， 1 階	③庫裏，木造， 2 階	 			
						
④住宅，木造， 2 階	⑤	⑥				
						
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等			
・建物，樹木は，きれいに管理されている。			・赤色（朱系）に塗られた土塀の景観が，周囲に鮮やかさ，幽玄さを示す。 ・敷地内の空間的なゆとりは，あまり感じない。			

景観重要建造物等の調査票						
近代建築 No. 008 (ID. 19)		名称：京都中央信用金庫丸太町支店 (きょうとちゅうおうしんようきんこまるたまちしてん)		担当者：杉本	調査日：平成 26 年 12 月 9 日	
所在地	中京区東樫木町 104	位置図 (都市計画図)	平面図 (写真撮影位置図)		航空写真	
敷地面積	約 196 m ² (※近代化遺産は GIS 計測)					
現適用制度	用途地域					商業地域
	防火・準防火					準防火地域
	高度地区					15m 第 4 種高度地区
	景観計画					歴史遺産型美観地区 (一般地区)
風致地区	—					
系譜, 歴史的性 (謂れ等)	昭和 2 年 西村好時 清水建設 RC 造 2 階建 もとは第一銀行の京都丸太町支店として当時第一銀行の建築課長を務めていた西村好時(1886～1961)の設計より昭和 2 年に建てられたものである。西村は大正 3 年に清水組(現在の清水建設)に入社したのを機に、長年清水組が店舗営繕を手掛けていた第一銀行の店舗設計を昭和 10 年代の半ばまで手掛けた人物である。また西村設計作品の作風は、当時の銀行建築で好まれていた西欧の古典主義をベースにしたものが多かったが、この旧丸太町支店のようなモダンなエッセンスを取り入れた作品も幾つか手掛けている。 http://farwestto.exblog.jp/9588126 参考					
	主な建物個々の写真 (番号, 用途, 構造, 階数)					
①銀行 RC3 階	①	③	建物全景写真 (近景, 遠景 (周辺の町並みを含む))			
④	⑤	⑥				
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況, その他特筆すべき事項等			
銀行として営業しており, 建物本体は良好に維持管理している。			・鴨川方面からは視認しづらいが, 御所方面からは淡い煉瓦外壁や特徴ある建物デザイン・円形アーチ窓を確認することができる。 ・よく目立つが, 高さは高くなく通りの景観として違和感はない。			

景観重要建造物等の調査票				
近代建築 No. 047（ID. 243）		名称：任天堂正面営業所（旧合名会社山内任天堂本店）本宅 （にんてんどうしょうめんえいぎょうしょ（きゅうごうどうがいしゃやまうちにんてんどうほんてん）ほんたく）		担当者：山田
調査日：平成 26 年 12 月 10 日				
所 在 地	下京区鍵屋町 342		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）
敷 地 面 積	約 772 m ² （※近代化遺産は GIS 計測）			
現適用制度	用途地域	商業地域		
	防火・準防火	準防火地域		
	高度地区	15m 第 4 種高度地区		
	景観計画	旧市街地型美観地区		
	風致地区	—		
系譜, 歴史的性 （謂れ等）	昭和 8 年 増岡建築事務所 大阪橋本組 RC 造 3 階建			
航空写真				
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））	
①商業施設 RC 造 3 階	②	③		
				
④	⑤	⑥		
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等	
・ 建物の外壁，窓枠等も含め，管理状況は非常に良い。			・ 住宅街の中に位置しており，遠景ではあまり目立たないが，直近では存在感を示している。 ・ 周辺の住宅の町並みに比べて，ひとときわ異彩的な感じを放っている。	

景観重要建造物等の調査票					
近代建築 No. 214（ID. 865）		名称：手越医院（てごしいいん）		担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日
所在地	東山区小松町 154		位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真
敷地面積	約 157 m ² （※近代化遺産は GIS 計測）				
現適用制度	用途地域	近隣商業地域			
	防火・準防火	準防火地域			
	高度地区	15m 第 3 種高度地区			
	景観計画	歴史遺産型美観地区（祇園町南歴史的景観保全修景地区－八坂通地区）			
風致地区	－				
系譜, 歴史的性（謂れ等）	大正～昭和初期 不詳 2 階建（一部 3 階建）				
	主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）			建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））	
①医院，，3 階	②	③			
					
④	⑤	⑥			
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等		
・ 2 階以上はタイル張り，1 階は改修された模様。 ・ 2 階の屋根は、バルコニーになっている。			・ 前面道路（八坂通）の向かい側は，建仁寺等の寺院が並ぶ。 ・ 同じ並びには，住居系の建物が建ち並んでいる。		

景観重要建造物等の調査票

近代建築 No. 221（ID. 1160）		名称：小泉邸（こいずみてい）		担当者：辻		調査日：平成 26 年 10 月 8 日	
所在地 左京区岡崎法勝寺町 120		位置図（都市計画図）		平面図（写真撮影位置図）		航空写真	
敷地面積 約 2,895 m ² （※近代化遺産は GIS 計測）							
現適用制度							
用途地域 第一種低層住居専用地域							
防火・準防火 —							
高度地区 10m 高度地区							
景観計画 —							
風致地区 風致地区第 3 種地域 風致地区特別修景地域（岡崎・南禅寺）							
系譜, 歴史的性 （謂れ等）		大正初期 RC 造 2 階建					
主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）				建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））			
①住宅，RC 造，2 階		②		③		A	
							
④		⑤		⑥		B	
							
建物個々で気の付いた点				周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等			
				・住宅市街地の中にあって，やや異質な印象。 ・			